

2020年9月16日

小児がん支援団体への寄付について

アフラック生命保険株式会社（代表取締役社長：古出 眞敏）と当社販売代理店組織であるアフラック全国アソシエイツ会（会長：吉田 雅俊、株式会社共栄会保険代行 代表取締役会長兼社長〈CEO〉）は、新型コロナウイルス感染症の拡大によって活動資金集めに苦慮している小児がん支援団体の支援を目的として約 4,600 万円の寄付を行いましたのでお知らせします。

新型コロナウイルス感染症が全国に拡大するなか、小児がん患児とご家族を取り巻く環境は大きく変わっています。がん治療下における感染リスクという大きな不安のなかで、感染回避のためにタクシーなど公共交通機関以外での通院による交通費の増加、支援施設の休止や飛行機等の減便等による付き添い家族の宿泊費の増加など経済的負担も抱えています。また、小児がん支援団体においては、街頭での募金活動をはじめ、各種チャリティーイベント等が相次いで中止されたことによって小児がん支援のための活動資金となる寄付金が減少しています。

こうした状況を踏まえて、当社は、役職員及びアフラック全国アソシエイツ会に対して寄付を呼びかけるとともに、その寄付額と同額マッチングの合計額を以下の通り寄付しました。

■寄付先

- ・認定NPO法人ゴールドリボン・ネットワーク
- ・公益財団法人がんの子どもを守る会

■寄付金額

アフラック役職員	:	6,776千円
アフラック全国アソシエイツ会	:	16,050千円*
アフラック	:	<u>22,826千円（マッチング）</u>
合計	:	45,652千円

※アフラック全国アソシエイツ会及び地区アソシエイツ会から寄せられた寄付金です。

当社は「生きる」を創るリーディングカンパニーへの飛躍を目指し、これからもすべてのステークホルダーから信頼される会社であり続けるとともに、がんにまつわる社会的課題の解決に取り組んでいきます。

別紙

アフラックの小児がん支援活動について

アフラックは、小児がん経験者が笑顔で暮らせる社会を目指し、以下の活動を展開しています。

活動名	概要
アフラック ペアレンツハウス	<p>小児がんなどの難病のため、自宅から離れた病院で治療を受ける子どもとそのご家族が1人1泊1,000円（患児は無料）で宿泊できる施設です。亀戸、浅草橋、大阪の3棟でこれまで延べ14万人以上の方々にご利用いただいています。</p> 
アフラック 小児がん経験者・ がん遺児奨学金制度	<p>親をがんで亡くした高校生や小児がんを経験した高校生を対象とした返還不要の奨学金制度です。これまでに支援した奨学生は、累計2,978人にのぼり、奨学金給付額は累計で18億円を超えています。</p>
My Special Aflac Duck	<p>さまざまな課題を抱える小児がんの子どもたちを応援するために、米国で開発されたアヒル型ロボットで、子どもたちに代わり感情を表現することができます。これまでに約300羽（2020年3月末時点）を小児がんの治療に取り組む病院等に寄贈しました。</p> 
ゴールドリボン運動	<p>2006年に企業としてはじめて「ゴールドリボン*運動」に賛同し、ウォーキングイベントや募金活動などを通じて、小児がんと闘う子どもたちへの理解促進や治癒率向上に向けた活動を支援しています。</p>  <p><small>*ゴールドリボンは小児がんへの支援を表すシンボルマークです</small></p>
アフラック クラシックチャリティー コンサート	<p>小児がんと闘う子どもたちやそのご家族を応援することを目的に開催し、コンサート会場では来場者が小児がんについて知り、理解を深めることができるよう、小児がんの子どもたちが制作した作品の展示などを行っています。</p>